

DHA-1型 排水用正圧緩和器

[P.A.P.A.]

製品記号 DHA1-P

イギリス スチュードール社製

排水管内に発生する正圧を緩和

DHA-1型正圧緩和器(P.A.P.A.)は、排水管内で発生する正圧対策用の器具です。排水管内には、排水の流れにより負圧の他に正圧が発生します。

正圧が発生することによりトラップの破封や器具からの噴き出し障害が起こることがあります。

正圧緩和器(P.A.P.A.)を取り付けることで排水系統で生じる様々な正圧障害を緩和することができます。

また、通気弁(AV-2C型)を本体に組み合わせることができますので、正圧と負圧による問題を同時に解消することができます。



■特長

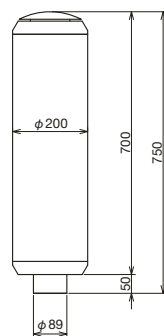
- 建物の排水管内で発生する正圧を緩和します。
- 最大4基まで連結して取り付けることが可能ですので建物内の広い正圧問題に対処できます。
- 通気弁と組み合わせることで、建物内の排水管内で起こる正圧・負圧による問題を解消できます。
- 水平取付ができますので、床下などでの設置が可能です。
- メンテナンスが不要です。

■仕様

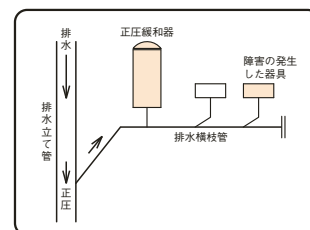
製品記号	DHA1-P
適用管	硬質塩化ビニル管 (VP管・VU管)
適用管径	75
端接続	差込み接着
材質	合成樹脂・合成ゴム
取付姿勢	直立又は水平注

注. AV-2C型通気弁を組み合わせる場合は鉛直方向から5°以内の直立取付としてください。

■寸法図



●正圧による噴き出し障害対策



注. 排水管の詰まりなどにより徐々に上昇する圧力に対しては、正圧緩和器は適用できません。

■正圧による噴き出し障害対策

右上図のように排水立て管内を排水が流れることにより、正圧が発生します。この正圧が排水横枝管に流入することで、噴き出しなど封水への障害が起こることがあります。

このような場合には、障害の発生した器具が設置された排水横枝管と排水立て管との合流部の近くに正圧緩和器を設置します。

正圧緩和器は排水立て管から排水横枝管に流入する正圧を緩和し、トラップの破封や器具からの噴き出しなどの障害を緩和します。

■取付け・取扱い上のポイント

1. 通気弁併設時は鉛直から5°以内の直立に取り付けてください。
2. 硬質塩化ビニル管継手又は排水管用可とう継手を使用して設置してください。また、本体を支持金具などで支持してください。
3. 本体を水平に取り付ける場合は45°エルボを2個使用して設置してください。また、本体内に排水が流入しないように、取出し配管から230mm以上、上方に設置してください。

